

ある日の育児日記から

(98)

佐藤 和代



先日、ある介護講習会に出席しました。着替え

や寝返りの介助、車椅子の操作といった講習のあと、最期に宿題ができました。「紙おむつを一枚ずつ配りますから、自分で使ってみてください」。

これで排尿してみると、介護される側の気持ち

がわかるから、だそうです。ちょっと抵抗はあつたけど、その日は下着がわりにおむつをつけて、

ふとんにはいりました。そして朝。ふとんの中で排尿、と思ったのですが、これが出ない。出せない。うーん、あれ、おしっこってどうやってする

んだっけ？ 本気でわからない。力むのとも違う

のよね、えーと???

結局、紙おむつをつけたままトイレに座って排尿、というまぬけなことをしてしまいました。

そういうえば、圭も有も、おまるに座らせても全然おしっこできない時期が長かった。子どもたち

も「おしっこってどうやるの?」と困ってたんじゃないかな、なんて今さらながら思いました。

そして、やっぱりムシるのですね、今どきのおむつでも、ぬれたままにいるのもちろん、おむ

つをはずしてすぐ新しいのをつけるのだって絶対気持ち悪い。子どもたちのおむつも、はずしたらしばらく

スッポンポンで遊ばせてやるんだった、と反省しました。五年遅かったか。

隣で犬をかいた始末。圭と有と反たが違う!

あー！ ホントだー